

情報連絡員総括表（2021年11月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 中央会・行政への要望
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100.0%）

○2021年11月のDI値は、前月との比較において「収益状況」を含む5指標が悪化。「売上高」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の4指標が改善する結果となった。

資材や燃料の価格高騰によって利益率が低下しており、各業界は販売価格への転嫁を検討している。しかし、価格上昇が消費の足止めとなることを懸念し、実施できない様子が各業界から伺えた。

○「製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「資金繰り」の4指標が悪化、それ以外の指標は改善の結果となった。

輸送用機械器具からは、「部品不足の影響で減産及び生産計画の変更が続いており、組合員各社収益悪化につながっている」とのコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、「収益状況」を含む3指標が悪化、「業界の景況」「売上高」を含む5指標の指標は改善の結果となった。

道路貨物運送業からは、「荷物情報が増加してきた。しかし、燃料高騰が経営を圧迫している。そのため、長距離輸送を避ける傾向にある。燃料高騰に続き、ディーゼルエンジンの排気の浄化に必要な尿素水の値上げも行われ、運送業者にとって非常に厳しい状況が続いている」との声が寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2021年11月	5.0	-4.6	8.4	-11.6	-31.7	-25.0	0.0	-13.4	-23.4
2021年10月	-8.6	-21.5	10.4	-6.9	-29.4	-15.5	-10.0	-17.3	-34.5
増減	13.6 ↑	16.9 ↓	-2.0 ↓	-4.7 ↓	-2.3 ↓	-9.5 ↓	10.0 ↑	3.9 ↑	11.1 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2021年11月	10.0		20.0 ポイント	↑	0.0		7.1 ポイント	↑	5.0		13.6 ポイント	↑
	2021年10月	-10.0				-7.1				-8.6			
在庫数量	2021年11月	-3.4		16.6 ポイント	↓	-7.1		17.9 ポイント	↓	-4.6		16.9 ポイント	↓
	2021年10月	-20.0				-25.0				-21.5			
販売価格	2021年11月	6.7		-6.7 ポイント	↓	10.0		2.9 ポイント	↑	8.4		-2.0 ポイント	↓
	2021年10月	13.4				7.1				10.4			
取引条件	2021年11月	-13.4		-13.4 ポイント	↓	-10.0		4.3 ポイント	↑	-11.6		-4.7 ポイント	↓
	2021年10月	0.0				-14.3				-6.9			
収益状況	2021年11月	-16.6		3.4 ポイント	↑	-46.7		-7.4 ポイント	↓	-31.7		-2.3 ポイント	↓
	2021年10月	-20.0				-39.3				-29.4			
資金繰り	2021年11月	-20.0		-13.3 ポイント	↓	-30.0		-5.0 ポイント	↓	-25.0		-9.5 ポイント	↓
	2021年10月	-6.7				-25.0				-15.5			
設備操業度	2021年11月	0.0		10.0 ポイント	↑					0.0		10.0 ポイント	↑
	2021年10月	-10.0								-10.0			
雇用人員	2021年11月	-20.0		3.3 ポイント	↑	-6.7		4.1 ポイント	↑	-13.4		3.9 ポイント	↑
	2021年10月	-23.3				-10.8				-17.3			
業界の景況	2021年11月	-16.6		13.4 ポイント	↑	-30.0		9.3 ポイント	↑	-23.4		11.1 ポイント	↑
	2021年10月	-30.0				-39.3				-34.5			

今月の業種別回答件数

1) 業界の経営動向

静岡県中小企業団体中央会

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	0	2	1	1	0	0	0	1	0	3	0	1	0	2	0	0	0	2
	繊維工業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	1	0	2
	木材・木製品	3	1	0	2	3	0	1	1	1	1	1	1	2	0	1	0	2	2
	紙・紙加工品	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	窯業・土石製品	1	2	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	1	1	0	2	0	1
	鉄鋼・金属工業	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	2	1	2	0	1	1	2
	一般機器	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0
	電気機器	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1
	輸送用機器	3	2	3	0	0	1	0	1	3	2	1	1	2	2	0	2	3	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	1	2	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	X		0	0	0	2
	小売業	2	1	1	1	4	0	0	0	1	4	0	1			0	0	1	1
	商店街	2	3	1	1	0	2	0	1	1	2	1	2			0	1	1	2
	サ－ビス業	1	1	X		0	1	0	0	1	1	0	0			1	0	1	1
	建設業	2	0			2	1	0	1	0	3	0	2			0	1	0	2
	運輸業	1	2			1	0	0	1	0	4	0	4			0	1	0	4

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> 石油関連資材の高騰、環境変化（温暖化、海底火山、赤潮等と思われる）による水産物漁獲量の減少から、年末年始の商材が大きく値上がりしており、消費減退の恐れがある。
パン	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で新しい生活様式が浸透し「おうち時間」が重要になる中、家で過ごすクリスマスが中心となることが予想され、クリスマスケーキの販売増を期待している。プレミアム感の高いケーキが人気で、イブが金曜日、クリスマスが土曜日と日柄が良く家族で楽しむ時間が増えそうである。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> 受注低迷、原材料価格の上昇、生産コストの上昇など、コロナの影響などによる市場の低迷が続いている。コストの上昇を製品価格に転嫁することは難しく、収益は減少しており、一段と厳しい状況である。 前月より売上は改善されず。多品種少ロットの受注生産をしている状況である。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言が解除されたものの、商品の動きは相変わらず厳しく又、資材等の値上がりで収益状況は悪化している。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> 依然、国産材需要は旺盛で製材業は高操業が継続中である。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> コロナの流行による緊急事態宣言は解除されたものの、印刷需要が低迷している。前年比では前年も売り上げ低調につき変化なし。資材値上げ、工事費高騰、産廃回収費値上げ等のコスト上昇を価格に転嫁ができず収益圧迫している。
骨材・石工品等	<ul style="list-style-type: none"> 売上は改善しているが、収益はまだ厳しい状況が続いている。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> 対昨年度比では、受注量・収益状況等は向上しているが、半導体不足による自動車業界の操業短縮の影響で、厳しい状況が続いている。 物不足や原材料・燃料の高騰等があり、厳しい状況である。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 半導体関連は好況続くが、他の分野はやや動きが鈍っている。特に、部品調達懸念から短納期の受注は断らざるを得ない状況にある。
電気機械器具製造業	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足は解消しつつあるが、東南アジアのロックダウンと中国の電力規制の影響による部品調達問題が継続しており、メーカーの生産調整や計画変更を発生させている。・大型冷蔵庫は部品調達の目途が立ち、生産は回復してきている。 家庭用と業務用のエアコンは部品調達問題の影響による生産調整が続いている。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 自動車メーカー各社は生産計画を増産に上方修正しているが、下請け中小企業は依然として部品の調達が計画通りいかない状況が続いており齟齬が生じている。 引き続き、コロナ禍における部品調達不足の影響で減産及び生産計画の変更が続いており、各社の収益悪化につながっている。また、変動人員の確保が難しい。 コロナウイルス感染者数が一時的に落ち着き、自動車など製造業の活動が活発になっている。再感染拡大の懸念及び海外感染拡大の影響はあるが国内の安静化により、少しづつ良くなりつつある。 受注量が減少、回復する見込みも無いと判断し11月末で廃業した事業所もある。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 11月の出荷は前年同期比10%以上の大幅な減少、2か月連続前年実績を下回った。セメント3メーカーから袋セメントの値上げ要請があり、1袋当り50円～60円。取扱量が減少している現状で値上受入は更なる減少を招く恐れがあるため、価格改定の要請を拒否する方針である。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> 燃料の高騰と漁獲量の減少から、魚価の高騰が著しい。しかし、価格に転嫁することはできず、売上は伸びても利益が上がらない。特に卸業は苦しい状況が続いている。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> コロナが落ち着き、来街者も昨年度よりは増加しているが、飲食店の夜の売り上げは、まだ戻っていない。空き店舗への出店も、テイクアウトを中心とした飲食店となっている。 ハロウィンの大きなセールを昨年と同様に行ったが、曜日のずれにより11月の数字は振るわなかった。少しずつではあるが、消費者が動き出してきたように感じる。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> 昨年11月はGOTOキャンペーンを実施していたため稼働率がよかったが、本年11月は静岡県民割キャンペーンが再開され来遊客は若干増加したものの、東京を中心とした首都圏からの来遊客はGOTOキャンペーンの再開を待っている感があり、平常時には戻っていない状況が続いている。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材価格上昇に歯止めがかからない。いつになっても収益の改善ができない。 民間工事はコロナ感染者の減少に伴いリフォーム工事が増加しているが、住宅設備機器・給湯器の納期遅れにより着工出来ない現場も発生している。官庁工事も発注件数が増えているので、採算が良くない工事は不調である。材料価格の上昇により収益は悪化傾向にある。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材価格の高騰により、施工費の値下げ圧力は各所で見られるが、何とか現状は維持できている。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> 11月は中旬以降、荷物情報が増加してきた。しかし、燃料高騰が経営を圧迫している状況が続いている。そのため、長距離輸送を避ける傾向が強まっている。燃料高騰に続き、尿素水（アドブルー）の値上げも行われ、運送業者にとっては非常に厳しい状況が続いている。 燃料費の高止まりが続いており収益に影響。月の稼働日数は前年並みでも設備の稼働率は前年以下である。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> 昨年10月との比較で輸送人員はマイナス9%、運送収入はマイナス7%となり、厳しい経営が続いている。これから例年一番の稼ぎ時である年末に期待するところであるが、燃料の高騰や最低賃金値上げなどの不安材料が残っている。 燃料の高騰による収益悪化について運送業界は大変な打撃を受けている。尿素水も来年から値上げが決まり、原材料の仕入れ価格高騰が深刻である。

4. 中央会・行政への要望

印刷業

- 値上げ要請は業界全体で足並みをそろえなければ効果がない。案内時期、値上げ割合など、話し合いが必要であり、先導が必要である。

商店街

- 少しづつ前を向いていけるような政策を期待する。

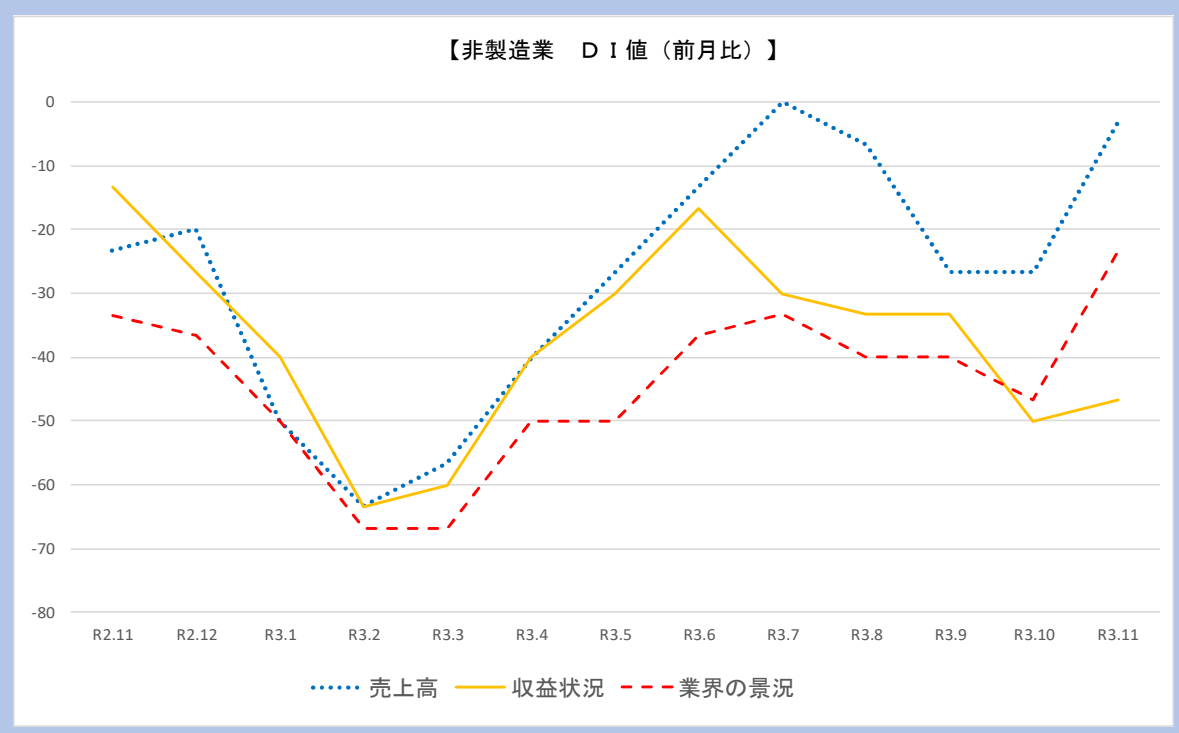
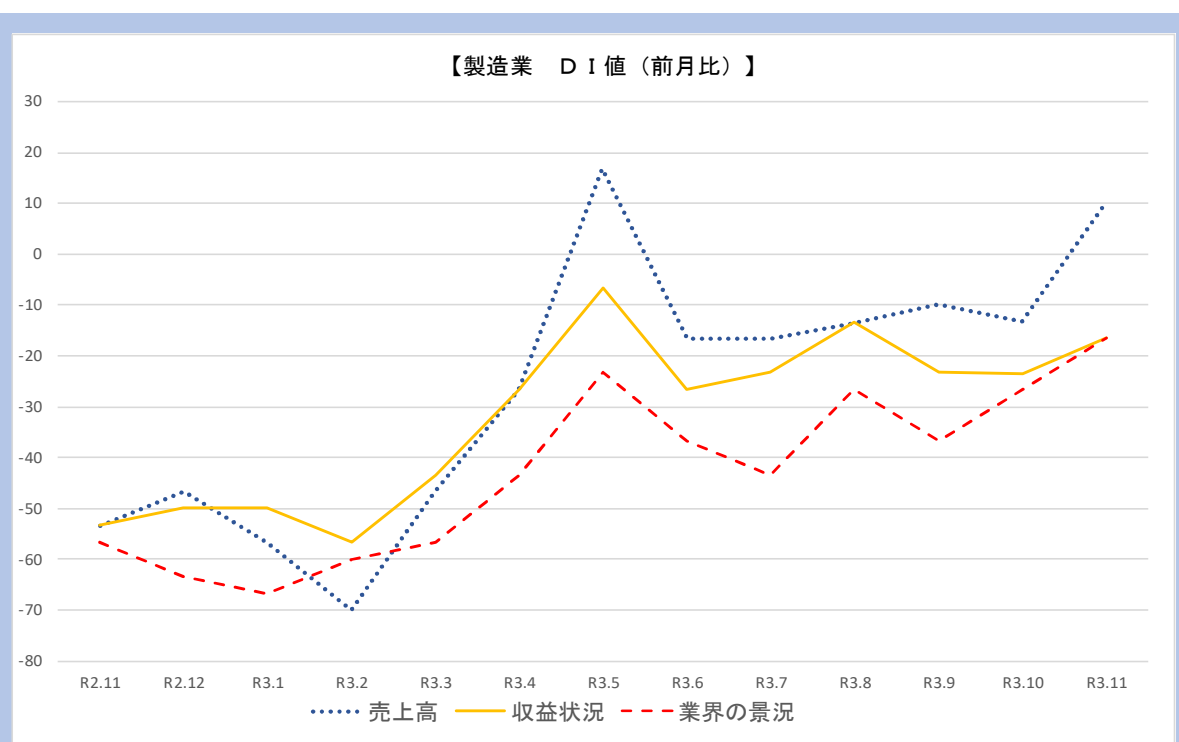
5. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2020年11月期～2021年11月期までの推移

全体	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11
売上高	-33.3	-53.3	-66.7	-51.6	-33.3	-5.00	-13.3	-8.4	-10	-18.4	-20	-8.6	5.0
収益状況	-38.3	-45.0	-60.0	-51.6	-33.3	-18.3	-20.0	-26.6	-23.4	-28.3	-36.7	-29.4	-31.7
業界の景況	-50.0	-58.3	-63.4	-61.6	-46.7	-36.6	-35.0	-38.3	-33.3	-38.3	-36.6	-34.5	-23.4

製造業	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11
売上高	-53.4	-46.7	-56.7	-70	-46.6	-26.6	16.7	-16.6	-16.7	-13.4	-10	-13.3	10.0
収益状況	-53.4	-50	-50	-56.6	-43.3	-26.7	-6.7	-26.7	-23.3	-13.3	-23.3	-23.4	-16.6
業界の景況	-56.7	-63.3	-66.6	-60	-56.7	-43.3	-23.3	-36.6	-43.4	-26.7	-36.6	-26.7	-16.6

非製造業	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11
売上高	-23.3	-20	-50	-63.4	-56.6	-40	-26.7	-13.3	0	-6.7	-26.7	-26.7	-3.4
収益状況	-13.3	-26.7	-40	-63.4	-60	-40	-30	-16.7	-30	-33.3	-33.3	-50	-46.7
業界の景況	-33.4	-36.6	-50	-66.7	-66.7	-50	-50	-36.6	-33.3	-40	-40	-46.7	-23.4



■2020年11月期～2021年11月期までの推移

売上高	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11
製造業	-53.4	-46.7	-56.7	-70	-46.6	-26.6	16.7	-16.6	-16.7	-13.4	-10	-13.3	10.4
非製造業	-23.3	-20	-50	-63.4	-56.6	-40	-26.7	-13.3	0	-6.7	-26.7	-26.7	0.0

収益状況	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11
製造業	-53.4	-50	-50	-56.6	-43.3	-26.7	-6.7	-26.7	-23.3	-13.3	-23.3	-23.4	-16.6
非製造業	-13.3	-26.7	-40	-63.4	-60	-40	-30	-16.7	-30	-33.3	-33.3	-50	-46.7

業界の景況	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11
製造業	-56.7	-63.3	-66.6	-60	-56.7	-43.3	-23.3	-36.6	-43.4	-26.7	-36.6	-26.7	-16.6
非製造業	-33.4	-36.6	-50	-66.7	-66.7	-50	-50	-36.6	-33.3	-40	-40	-46.7	-30.0

